



消火器を使って消火訓練

火事だ！逃げて！
日奈久出張所・日奈久コミセンで 消火・避難訓練

1月21日午後2時から市役所日奈久出張所・日奈久コミュニティセンターで「消火・避難訓練」が行われ、警報音が全館に鳴り響きました。

2階調理室で天ぷら火災が発生したとの想定に職員6名が参加した訓練では、「火災報知機のボタンを押しても警報音が鳴らない」などのトラブルが発生しつつも、予定通りの6分30秒で発見・通報・初期消火・避難を完了することができました。

今後利用者者の安全確保のために年2回実施していきます。

施設が古くて①火災報知機のボタンは、警報音が鳴り始めるまで押し続ける必要があること、②火災報知機と緊急放送の設備が分割されていること、緊急放送が聞こえにくいこと、③避難路の階段に煙が入らないように防火扉を閉鎖することの3点の改善点を発見しました。訓練終了後には、警報パネルの見方や警報音の止め方と防火扉の復旧方法について実践し、実り多い訓練となりました。

訓練で想定外が発生するとその想定外は次回訓練では想定内になります。またそこで想定外が発生しても次々回の訓練では想定内です。訓練を繰り返すことが本当の対応力になります。

各家庭でも避難経路や消火器の点検など確認しておきましょう。

「ひなぐ雛祭り」を盛り上げよう！ 婦人会が「くまモン雛」のために奮闘

今年の「ひなぐ雛祭り」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、イベントが中止となりました。

実行委員会では、少しでも盛り上げようと日奈久に27体設置されたくまモンを雛人形に飾り付けようと考えました。着物の生地を集め、衣装に仕立て上げる準備に時間を費やしました。冠なども水引などを活用し、少しでも雰囲気が出るように工夫しました。

衣装を着けるのに大きなくまモンには、数時間かかりました。くまモンはぼつちりしている上に、晚白柚をだっこしているのもあり、うまく衣装を着せるのに苦労しました。そこはチームワークで乗り切りました。



くまモンに着付けする婦人会

「三月節句のくまモンさん」

山下町 久保幸子

日奈久の街にくまモン27体が可愛い姿を見せています。婦人会では、「ひなぐ雛祭り」に合わせ、皆さんにくまモン巡りを楽しんで頂けるようくまモンをお雛様やお内裏様の姿にしようとして計画しました。知恵を出し合い工夫し、可愛いくまモンができました。コロナ対策をしながら、たくさんの方にきて欲しいです。

おがまち日奈久ニュース

令和3年3月号
(第139号)
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
(1月末現在)
男 1144人
女 1390人
計 2534人
(前月比-17人)
(2009年末3444人)

**「ありがとう」が
行き交うまち 日奈久**
身近な人に「ありがとう」
愛する日奈久に「ありがとう」
訪れる人に「ありがとう」

子ども達を 犯罪から守ろう

登下校の見回り強化

2月12日（金）に八代市内で殺人事件が発生しました。こんな身近なところで、恐ろしい殺人事件が発生したことに驚きを隠せません。早速該当校区では、集団下校等の対応が取られましたが、容疑者確保のめどが立たないということで、各学校も登下校の見守りを強化しようという

以前から老人会の方々も見守り活動をされていました。多くの地域住民の目があることが、いろいろな危険から子ども達を守ることに繋がります。

容疑者が判明し、市内一斉の見守り活動は休止しましたが、子ども達の安全確保のために、地域住民一丸となって、協力していくことが重要です。

2月13日（土）の夜に発生した東北地方の地震は、10年前の東日本大震災の余震と言われています。このような大きな余震が、10年後に起こることに、大きな驚きを感じた人は多かったことでしょう。

あわせて日奈久校区自主防災会と消防団も、外階段から3階まで避難しました。

その後、全員が運動場に集まりました。里木校区長が、

「避難するときには、『お（おさない）、は（はしらない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）』を守ってください。」と話されました。

まためでは、小学校の宇田津教頭先生が、『皆さん落ちて行動できました。災害時には地域と一体となって、みんなで協力し合うことが大切です』と話されました。



参加者を前に話される里木校区長

地震と津波を想定して避難訓練を実施

学校地域づくり協議会と連携して日奈久小・中学校合同で

小学校は、地震発生とともに机の下に避難し、その後津波からの避難で3階の音楽室に避難しました。中学校は、運動場に避難して人員の確認後3階の音楽

3月の行事から

2～3日雛祭り（竹灯り）
12日（金）日奈久中卒業式
20日（土）●春分の日
24日（水）日奈久小卒業式

＝住民自治会関係会議等＝

12日（金）市政協力員例会
15日（月）運営委員会
19日（金）広報部会

「ひなぐ雛祭り」の 「竹灯り」をお楽しみに

3月2日（火）3日（水）18時

竹灯りは、憩いの広場にて開催します。春の夜に柔らかな光の装いを

お楽しみください。

2月20日には、住民自治会や地域有志の皆さん10名が集まって、竹や紙を切ったり、電池を入れたり準備



竹灯りの製作進む

日奈久歴史散歩

無敵の力士がいた

嶋ヶ崎物語

今、大相撲では宇土出身の大関正代が、熊本県力士として初めて優勝し、強さを誇っています。八代市出身の貴健斗も来場所には、十両に昇進します。

かつて、日奈久にも嶋ヶ崎宇太郎といううめっぽう強い相撲取り（力士）がいました。今から200年ほどの昔、江戸時代（大正年代）のことです。

嶋ヶ崎は大男で、体力があり、めっぽう相撲が強くて、肥後の国では無敵の強さでした。

この頃、江戸では有名な横綱谷風が引退し、小野川、雷電の全盛時代で、江戸相撲は大変な人気でした。わが嶋ヶ

住民自治会運営委から

2月15日（月）開催の運営委員会から、記事として扱っていない主な事項についてお伝えします。

○町内連絡委員会



・防犯対策として各町内に「防犯カメラ作動中」の掲示物を3枚配布しました。

○企画イベント部会

・「くまモンマップ」が作成されることになりました。

○事務局

・まちづくり活動活性化補助金未申請だった10万円については、イベント参加用の絵羽ゆかた9着、帯10本を申請しました。

・「日奈久温泉スプリングフェスタ」は中止します。

しました。材料の竹は、二見の濱田郁朗様が届けてくださいました。当日のお客様に思いをほせ、手分けして製作に励んでいます。

今年の「温泉感謝祭」は 神事のみ開催

3月28日（日）請前浜町

崎も「江戸でひと花咲かせたい」と思って、日夜稽古に励んでいた。地元のファンも江戸の横綱にも負けないだろうと、嶋ヶ崎を江戸へ行くと後押ししました。

この噂はたちまち広がって、嶋ヶ崎の横綱挑戦の話が江戸相撲の幹部に伝わりました。すると江戸相撲の幹部は、大変慌てて嶋ヶ崎の江戸行きを阻止しようとする秘策を与えて、使者を西に走らせました。

竜田山たちは泣く泣く嶋ヶ崎の遺骨を抱いて帰ってきました。時に天保6年（1835）12月7日のことでした。

（本稿は中原文敬著「日奈久の歴史」を参考にしました。）



温泉神社の参道横にある嶋ヶ崎関の墓石

（広告欄）

2月13日から3月7日まで開幕される第12回「ひなぐ雛祭り」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントが中止されていますが、日奈久温泉旅館等では、雛飾りが展示されています。今回は、日奈久に27体あるまももんも、婦人会の力で雛人形に変身しています。春を呼ぶ日奈久の雛人形と雛祭り、にちなんだ俳句を探して、町を散策してみませんか。

雛をかざらう雛のよにうまれてきた
種田山頭火

春を呼ぶ

雛壇に美しかりし夕日かな
星野立子



不知火ホテル



あたらし屋



八代屋



鏡屋

箱を出る顔忘れめや雛二対
与謝蕪村



日奈久駅

雛壇の右近の桜花の穂
山口誓子

ひなぐ雛祭り

こきりきと細目がやく雛かな
飯田蛇笏



松の湯



金波楼

手渡しに子の手こぼるおなられ
中村汀女



金波楼



新湯旅館

めでたしや娘ばかりの雛の宿
正岡子規



ひらやホテル



おりや

端然と恋をしてゐる雛(ひな)かな
夏目漱石



あたらし屋



柳屋



丸山商店

草の戸も住み替はる代ぞ雛の家
松尾芭蕉



潮青閣



日奈久水産



丸屋商店



桑庵



ゆめ倉庫



鏡屋



片山満幹

すり剥(む)きし膝を抱えて雛の客
貸まどか



潮青閣



しのはらホテル浜膳

紅梅の宿にもどれば雛の客
中助助



松の湯



街角スナツ

塩北町 倉野様宅のしだれ梅が見事に咲きました(2月14日撮影)
新開町堤防の河津桜も綺麗に咲きました。(2月18日6分咲き) 今年も山本一樹様が土手の草刈りをされています。感謝。

(広告欄)